

井の頭恩賜公園花便り



ボケ(木瓜)バラ科

中国原産で平安時代に渡来し、現在は多くの品種が庭木として広く植栽されています。バラ科の落葉低木で早春に梅に似た五弁の丸い花を咲かせます。赤や白、紅白が混ざる絞りなど多彩で、枝に棘を持つのが特徴です。秋にはウリに似た芳香のある実を結びます。名称は、実がウリに似ていることから「木瓜(もけ)」と呼ばれたことに由来し、転じて「ボケ」になったと言われています。

ハナカイドウ(花海棠)バラ科

中国原産で日本への渡来時期は不明ですが、古くから牡丹と並び「美人の形容」に使われるほど、その美しさは愛されてきました。4月頃、桜を思わせる淡いピンク色の花を咲かせるバラ科リンゴ属の落葉低木です。長い花柄の先に、うつむき加減に花を垂らす奥ゆかしい姿が特徴で、一重から八重まで変化に富んでいます。なお、「カイドウ」の名は中国名の「海棠」を音読みしたものです。



花便りに関するご質問は、井の頭恩賜公園案内所 (Tel.0422-47-6900) までお問い合わせください。